

# ONE TEAM

津幡町立津幡中学校  
1 年 学 年 だ よ り 18 号  
令 和 6 年 1 2 月 17 日 (火)  
津幡中学校長 泉 智一  
1 学 年 主 任 上 谷 知 未

## 家族と支え合うなかで

2 学期の道徳の授業で、「家族と支え合うなかで」という題材を通して、家族の「支え合い」について考えました。この題材は、筆者「私」が、年老いて体の自由がきかなくなった祖母の世話をすることを面倒くさがり拒否してしまったことから始まります。

「私」は、幼い頃に祖母に世話をしてもらっていたことを母親から聞いたり、老人ホームの訪問で体験したりしたことを通して、自分の身勝手な言動に気づき、家族のなかで自分が果たすべき役割や支え合いの在り方を見つめ直していきます。

授業の振り返りの場面では、主題について生徒のみなさんに様々な学びがありました。以下はその内容です。これから迎える冬休みに、家族で過ごす時間を大切にしてみてください。

～ 生徒の振り返りより ～

- ・親から頼まれたことや、やらなきゃいけないことを、私は後回しにしたり、返事をしただけでやらないことがとても多いので、この学習を生かして、すぐに聞くようにしたり、親がしてくれていることを考えて行動に移したいと思いました。
- ・僕は、今日の授業で、家族は大事で僕は支えられる側がほとんどだったので、これからは、家族のことを考えて支える側になれるよう行動したいです。
- ・支え合いは、家族だけでなく、友達にも笑顔や勇気を与えるものと分かった。私も、色々な人に元気や笑顔を与えられるような人になりたいと思った。
- ・私は、この話を通して、家族との時間を大切にしたいと思った。私の家には、祖父母はいないけど、たくさん家族と話せる大人になりたいです。
- ・老人ホームにいる人たちは、家族に会えなくて温かさを感じられなく、さみしい思いをする人が多いと知りました。家族は支え合って生きているので、おばあちゃんとおじいちゃんといる時間を大切にしていきたいです。
- ・僕は、祖母や祖父の老化が進み、不自由な体になったとしても、今日の学習を思い出し、自分がしてあげられることを精一杯したいです。
- ・祖父が入院していたとき、たった数週間が僕には10か月くらいに感じられて、その時、何気なく過ごしているこの生活に何か一つでも欠けてしまうと、すごくさみしくなるんだなと分かったので、もっと家族と関わる時間を増やそうと思いました。
- ・家族と一緒にいる時間が大切だと思いました。私は、家にいてもスマホを見てしまったりテレビを見てしまったりして家族と一緒にいる時間が少ないと思いました。これからは一緒にいる時間をもっと長くしたいです。
- ・手伝いなどといった仕事で面倒くさいと思ったり、なんで私なのかと思ったりするかもしれないけれど、自分も家族の一員として、家族を支えていきたいと思った。これからも家族で支え合って、家族みんなが笑顔で過ごせたらいいと思いました。

